

NEWS Letter

Enjoy!! NOZOWA Life !!

KEN TIMES

2022年 9月号



p02



p04



p06



Contents

p06 / 今月のインタビュー

「ひなたやまデザイン」の高野理恵子さんだぜい。



- p02 / 日常、あれこれ
- p14 / バックナンバー
- p15 / プロフィール
- p16 / お客さまの声

新潟、郷津海岸にて。
夏になると通わずにはいられない
うちでは定番の場所です。

初ファミキャン ～キャンプが一番良い！～



今夏のテーマの一つ、それは家族キャンプに出かけること。雪解けの頃から父一人、勝手に目論んでおりました。

そうこうしているうちにあっという間に7月になり……マズイ、このままでは何もせずに冬になってしまう！と、慌てて上越の「WEST」にてキャンプグッズを爆買いしました。結構良いお値段するんですよ！

ただ、他所へ出かけてホテルや旅館に何回か泊まったかと思えば、キャンプをすればするほど安くなるのだと、自分に言い聞かせ、奮発した次第でございます。これからは少しずつバージョンアップしていきたいと思えます。少しずつね。

我々家族がキャンプデビューに選んだ場所は、野沢の先輩が働いている「戸隠イースタンキャンプ場」。全てが清潔で快適、しかも、かなりリーズナブルです。修さん、ありがとうございました！

長野のスーパー「角上」で、美味しい肉と魚を買い込み、七曲を上がり、現地に着いたのは……たしか17時ぐらいだったかな？遅い！しかも、初めてそこでテントやタープを広げたのです。

舐めていたんですよ。最近の道具は簡単に組み立てられるようになってきているはずだと。

子どもも、組み立てている周りを大興奮で、はしゃいでいるので、結局落ち着いて缶ビールを開けたのは20時ぐらいになりました。まあ、その時のビールのうまいこと。いつでも美味いんですけどね。タープに吊るした黄色いランプの下、控えめの炭で美味しい肉を焼き、飯盒炊爨をして家族の時間を過ごす。……うん、幸福。……他に何がいる？

夜に強い雨が降ったことも、かえって良かったように思います。テントの中で聞く雨音は、より自然を感じられたし、テントに守られ、その快適さを際立たせてくれました。息子が「雨、いろんな音してるね。」と



キャンプ用品の買い物にて→
すでにキャンプに行った気分



言ったのが、ひどく印象的でした。森の自然が、我々の感性を豊かにしてくれるようです。翌朝の小鳥のさえずりも素晴らしかった。

少し霽のかかったような天候の中、凄くはつきりと、そして美しく、森に響き渡っていました。

子ども達が起きてくる前に、豆から挽いたコーヒーをひとり啜り……みんなが起きて来たところで、角上で買ってきたサワラやホッケの西京漬をアルミホイールで焼き、飯盒で炊いた白米と一緒に朝ごはんです。これは贅沢すぎる。そのあとで、のんびりと道具を片付けるのも、キャンプの良い時間なんだよな～。

で、キャンプがなぜ一番良いのかというと……これほどまでに家族の思い出が残り、経験値も上がり、しかもお金はかからずに、ビールがうまい！という遊びを、他にはなかなか思いつかないからです。

次回はパパッとテントを組み立て、夕方から楽々飲むぞ～！というのがワタクシ親父の野望です。さあ、自然の中で気持ちよく飲みたくなったあなた、一緒にキャンプへ出掛けましょう！



我が家にツバメがやってきた！～妻の大波～



「縁起物」とされる燕の巣の建築が、我が家の軒下でも開始されかけていました。いや、僕ははじめ、迷ったんですよ。フンの始末も大変だし。

しかし、妻から「子どもに見せてあげたい。」と、燕(ツル)のひと声。ああ、それは確かに素晴らしい教育だなあと、僕も賛成しそのまま工事は進められました。

しかし、そう決めてからさほど時間の経たないうちに、燕の姿が見えなくなりました。僕は「まあ、そんなに調子良くなかったんだな。フンの片付けもしなくて良いから、これはこれで良かった！」と、大体のことと同じように、都合よく解釈してしまいます。

しかし妻はというと、それを知ってからずっと浮かない様子で「なんで来なくなっちゃったんだろう…」[う～ん…(ため息)]と、終始。あまりにもそれが続くので「そんなの、良い方だけ考えれば良いじゃん！」と、僕も次第に、、、そんな状況になって来ました(察してください笑)。

ところが！2、3日もしたら燕がまた姿を現し、あれよ、あれよを巣を完成させ、そのうちに「チー、チー」と産声上がるようになりました。その時の妻の変わり様といたら！何をするにも機嫌がよく「いやいや、ここまで燕で変わるのかよ！」と僕は驚くばかりでした。まあ、驚かないか笑。

ツバメが雛のためにトンボを捕ってきたり、子育てをする様子を見て、息子が「交換こ、交換こで、お仕事してる～！」とか「カカ～、ツバメの赤ちゃん、生まれたよ～！」と叫んでいるのを聞いて、僕もとてもほのほのとした気持ちになるのでした。

中型、取りました！ ～バイクのある人生～



冬、スキーをしている時に「バイクがある人生は、またひと味違うよ。」仕事の友達(先輩)のスウ3からそう言われ「ですよね～」ということで、雪が溶けたので予定どおり免許を取りに通いました。中野自動車学校まで。

感想、とにかく暑かった！

教習は日陰が一つもない炎天下の中、長袖長ズボン、プロテクターにゼッケン、もちろんヘルメットとグローブも着で行きますので、夏の



それは、ちょっと別の戦いですね。卒検は無事に1回で合格したのですが、まあ緊張しましたよ。1本橋の前では足が震えるほどでした笑。

初のツーリングは、きっかけのスウ3が埼玉からハレー(音が凄まじい)に乗って来てくれ、燕温泉まで走ってきました。普段、車で走っていてもなかなか感じないのですが、めちゃめちゃ良いツーリングコースですね。ちょうどいいカーブと、ちょうどいい上り下りです。

野天風呂の白い湯に浸かり、帰りに美味しい蕎麦を食べ……バイクのある人生、たしかに最高ですね。スウ3、素晴らしいきっかけを、いつもありがとうございます！



感謝&感謝！～同級生は宝～(facebookより)

うおーーしゃ！！入社8年目の最後の月に初めて全国1位取れました～！…先日、竹の子を取りに行った時に思い出したんですよ。入社当初、全国の同期が土日も休まず仕事している中、僕は野沢の同級生に竹の子を取りに行かないかと誘われ「ちょっと心配なんだよね～」と我ながらダサい返事をする、同級生が「いやいや、そんなんでヤバイようじゃ元々ヤバイから」と。…全く君らの言う通りだったよ！飲んだらポンコツの君らが珍しく頼もしく思えたぞ！寛也、マンちゃん、その時はありがとう。



息子が「トト、ナンバーワンじゃん！すげ～じゃん！良いな～、オレもナンバーワンになりて～な～」と、思いのほか感心してくれたのが、何よりも嬉しかったです。

これからも、地域の皆さんが心豊かに田舎ライフを満喫できるよう、精進してまいります。感謝です！

ラブレター ～お姉さま達からの手紙～



仕事柄か？年配のお姉さま達からお手紙をいただけることがたまにありまして。とても嬉しく、そのたびに「上手だよな～」と感心するばかりです。そこで、僕が上手と思うお手紙について考えてみました。

①ちゃんとしている。

形式とかそういう話ではなく、丁寧なお言葉遣いであったり、「ああ、こういう言い方をすれば良いのか～」と、表現の仕方が美しい。

②でも、畏まっていない。

どちらかと言うと砕けた感じの文体で、親近感が持てる。ユニーク。その人の「生活感」みたいなものが感じられる。

③終わり方がスッキリと気持ちが良い。

決まってリズム良く、明るい終わり方で締められている。……いつか僕も上手に書けるようになれたらいいなあ。あのお姉さま達のように。

竹の子むき時間 ~全員集合~



嬉しく、ありがたいんだけど面倒くさい。竹の子剥きのお呼びが掛かると、正直なところこう思うわけです。

仕事の手を止めて実家のフジヨシに向かいます。で、実際に剥き始めると。他愛もない会話をしながら、一家団欒、和やかな時が流れます。……抽選で村の若者住宅が当たり、実家を離れて(ほんの少しだけ)暮らすようになって、こうして家族が全員集まる時間も、もちろん減ります。だからこそ。こういう時間を、ずっと大切にしていきたいものですね。うん、子どもたちも喜んでいる。

夏、終わらないで～！



だいたい、冬の余韻(片付けも含めて)が7月中旬ぐらいまであり、8月は友達が遊びに来てくれたり、子どもの夏休みがあったりであつという間に終わり……9月もお祭りで、これまたあつという間に終わり。10月には妻の実家の稲刈りも集大成、肌寒い日がもう迎えにやって来て、冬へのカウントダウン。海でこの写真を撮ったときに、強くそれを感じたのです。……僕は、夏が好きなんですよ。



夏の思い出
Summer Snapshots
2022



さぞ、気持ちよからうに。



泳げる、F1 河野 謙

Kono Ken



河野 謙 (こうのけん)

- 1987年7月10日生まれ(卯年・かに座)
- ファイナンシャルプランナー
- 双子(弟は連)
- A型
- 三児の父(長男:2016.7/長女:2018.12/次男:2020.10)
- サイグラム/M10
- 動物占い/感情的なライオン・ゴールド
- 野沢温泉村在住(横落のFujiyoshi. ずっと地元民)



【学 校】

- 野沢温泉小学校
- 野沢温泉中学校
- 飯山北高等学校
- 立命館大学(経済学部・国際経済学科) ずっとスキー部(アルペン)

【性 格】

楽観主義者。過ぎる時もあるぐらいだが、小さい時からそうだったわけではない。大学ぐらいから海外に行ったり、色んな友達と付き合い中でそうになっていったと思う。**判断は早い方。**ただし、睡眠不足に陥るとあらゆる面でうまくいかなくなってしまう。

遊びや日課

- スキー・スノーボード。シーズン中は週2ぐらいのペース。
- サーフィン。直江津がメイン。力強いハワイの波が忘れられない。
- 中学校の時は北竜湖でヘラブナを釣ることが何よりの楽しみだった。現在は溪流釣り。
- ゴルフ(2020年からハマリ、2021年現在、100前後をウロチョロ。斑尾タングラムがメイン。)
- サウナ。ちょっと行かないと禁断症状が出る。基本は木島平パノラマランド
- 飲酒はほぼ毎日。夕飯時には欠かせない。(ビール、日本酒、ワイン、ウイスキー)
- 昼寝もほぼ毎日。だいたい1時間ぐらいは眠る。比較的早起き。
- 26歳から、お祭りで猿田彦の笛をやっている。
- 消防団員。第一分団第二動力班



好きな作家

村上春樹、サリンジャー、浅田次郎、野田知佑、椎名誠、伊集院静など。特に村上春樹は相当の回数読んでいる作品が多い。

好きな音楽

特に好きなものは90年代日本語ラップ。「BUDDHA BRAND」「キエるマキユウ」に関しては博士。ユーミン、Hi-Fi Set、ビートルズ他、ジャズもクラシックも好き。



BUDDHA BRAND

好きな言葉

「天運我に有り」
「時間はたっぷりある」
(これが最高の贅沢。口に出すと、心に余裕が持てる)
「ありがとう」

仕事の変遷

スキーだけやっていた大学生活だったので、当時「こんな仕事かしたい!」というものがなく(スキーで稼いでいくほどの実力も自信もなかった)、4年のゴールデンウィーク頃から就活をスタート。

その頃、株やFXをやっていたということもあり「なんとなく金融が面白そうかな」という思いと、長野県出身のスキー部の先輩が、卒業後そこで活躍していることを知っていたので、地元の金融機関である「株式会社 長野銀行」に入行。

入行後一年は、掃除、雪かきの毎日。ちょっと退屈だったが、雪かきに関しては豪雪地帯・野沢温泉出身の実力をここぞとばかりに発揮し、銀行の敷地内だけでは物足りず、勝手に近所の商店の雪かきまでしていた。

そして楽しくお茶をいただき、預金までしてもらっていた。お客さんと心が通じる、「河野君だから」で任せてもらう。これが営業か……と、その時に思った。

2年目からは松本の支店で営業係。預金・住宅ローン・投資信託・保険を主に販売。最初はどのようにいいかわからず、お客さんの家でお茶をもらってばかりいたが、ある日突然自分の中で「何か」が解り、ここからは営業が楽しくて仕方なくなった。

お客さんは「その先に何を求めているか。」これが本質。

2014年(銀行4年目26歳の時)長野銀行出身の、尊敬する先輩に声をかけてもらったことがきっかけで、現在の会社に転職。ずっと地元だけで仕事ができる。本当に自分が好きで、お客さんにとって100%いいものだけを案内できるということが最大の魅力だった。

現在は「KEN TIMES」も発行。地元の事業主のインタビュー、お得な金融情報、日々の日記を掲載している。お客さん同士が繋がりが、地元がどんどん盛り上がっていくことが何よりの喜び。

